

上板橋第一中学校 改築校舎完成後の通学区域の検討について

1. 上板橋第一中学校 通学区域の検討にあたって

「いたばし魅力ある学校づくりプラン」では、学校施設の改築・改修と学校適正規模・適正配置を連動させ、多面的な検討を行うことで、“将来の学校に求められる機能や設備が整備された学校”、“将来にわたって、集団としての教育機能が最大限に発揮される規模を有する学校”の整備をめざしています。

本プランに基づき、上板橋第一中学校について、校舎改築に併せて通学区域について検討していきます。

通学区域の設定によって、新校舎における必要教室数に影響があるため、今回は、通学区域を検討する際に考慮すべき視点と、現時点で考える上板橋第一中学校の通学区域を拡張する試案（別紙1）をお示しします。

なお、通学区域の具体的な検討については、（別紙2）スケジュールの通り、今後、各関係者と意見交換を行い、通学区域を変更する場合は、新校舎の供用開始に合わせて変更していく予定です。

2. 通学区域を検討する際に考慮すべき視点

① 学校規模

- 通学区域の変更による大規模化や小規模化を可能な限り避け、**望ましい学校規模（適正規模）を維持できるようにすること。**
- 本区においては、**小学校 12～18 学級、中学校 12～15 学級**を適正規模としている。

上板橋第一中学校の将来学級数予測（平成23年4月2日～令和3年4月1日生まれの住民登録者数を基に推計）

学校名	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
上板橋第一中	10	11	11	11	11	11	9	9	9	9

- 上板橋第一中学校の将来学級予測においては、9～11学級程度で推移し、適正規模である12～15学級には今のところ達しない見込みです。
- このことから、通学区域を検討する際には、上板橋第一中学校の通学区域の拡張が、上板橋第一中学校の適正規模化には有効であると考えられます。

※上記は普通学級のこれまでの入学率による将来予測です。特別支援学級については、別途、受入れを行います。

② 通学距離

- 本区においては、**概ね小学校 1,000m、中学校 1,500m**とすることが望ましい。

③ 通学路の安全性

- 安全性の維持と確保に努める必要がある。

④ 小学校と中学校との通学区域（学びのエリア）の整合化

- 小中一貫教育推進の視点から、小・中学校のグループである「学びのエリア」と小・中学校の通学区域の整合

上板橋第一中学校の学びのエリア

中学校	小学校
上板橋第一中学校	常盤台小学校
	上板橋小学校
	弥生小学校

⑤ 町会・自治会区域への配慮

3. 通学区域検討【試案】 ※新校舎の教室数、規模感検討のためのものであり、確定したものではありません。

※別紙1のとおり

4. 通学区域検討に関するスケジュールイメージ

※別紙2のとおり

＜通学区域の検討についての問合せ先＞

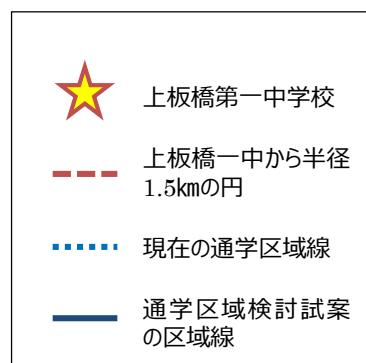
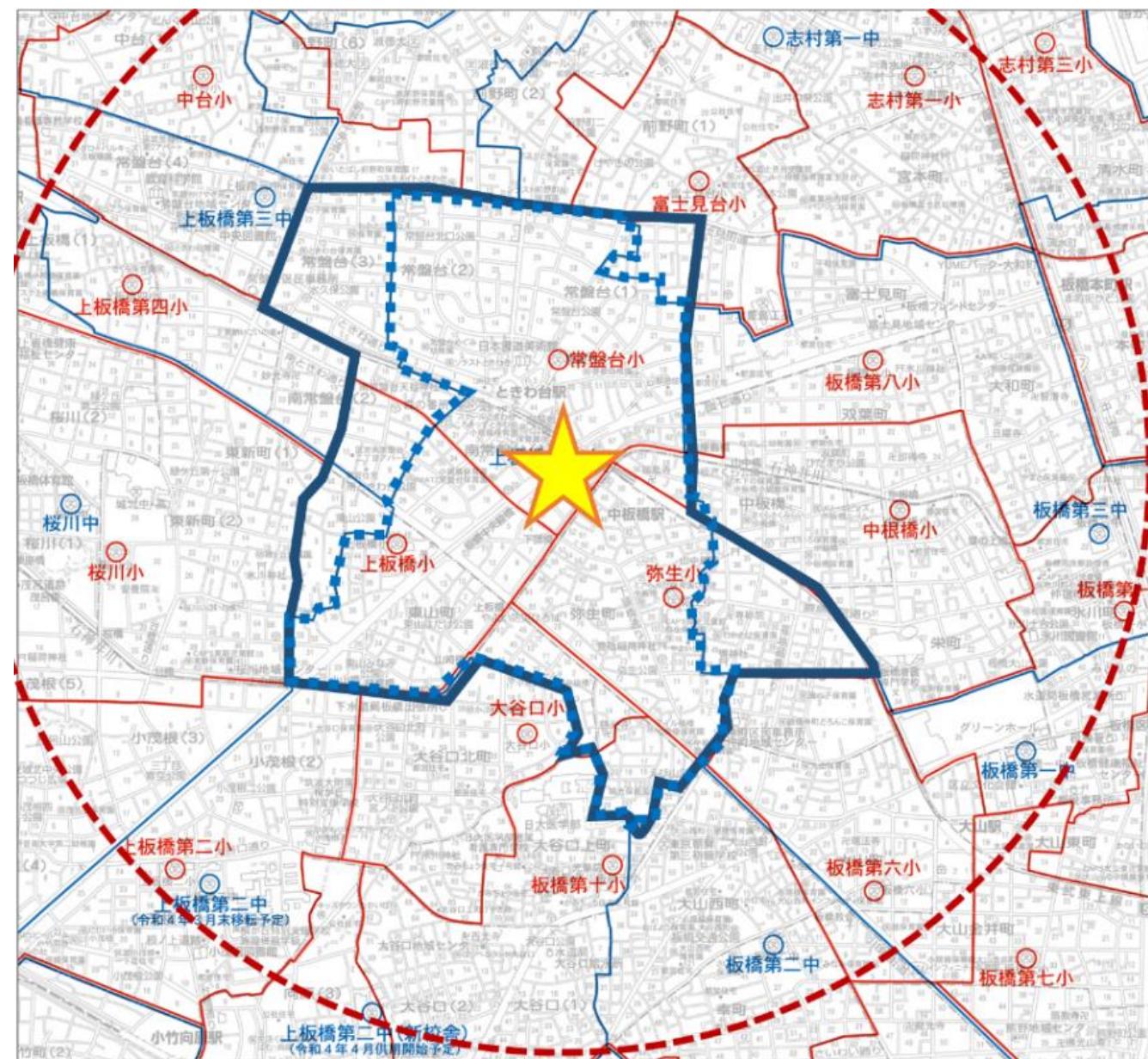
板橋区教育委員会事務局新しい学校づくり課

学校配置調整第二係 石井・市川

03-3579-2090

- 改築校舎の教室数、施設規模の検討などのため、通学区域検討の試案として、学びのエリアの小学校通学区域と上板橋第一中の通学区域を一致させる区域をシミュレーションしています。
- 新校舎の教室数、規模感検討のための試案であり、現時点で確定した通学区域ではありません。

▼ 区域図



▼ 調整箇所（試案）

住所	現行	変更後
常盤台三丁目1～23番 南常盤台二丁目1～4番、15～17番	上板橋第三中	上板橋第一中
南常盤台二丁目5～14番	上板橋第三中	上板橋第一中
常盤台一丁目33～37番	志村第一中	上板橋第一中
東新町一丁目50～53番、東新町二丁目1～7番 東山町34番、51～52番	桜川中	上板橋第一中
仲町4～12番、25～46番	板橋第三中	上板橋第一中

▼ 学級数推計

学校名		R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
上板橋第一中	現状	11	11	11	9	9	9	9
	調整(最大)	12	14	14	13	14	12	12

(※平成23年4月2日～令和3年4月1日生まれの住民登録者数を基に推計
令和9年度入学生より試案の通学区域と仮定)

▼ 試案について

- 本案は、上板橋第一中の学びのエリアである常盤台小、上板橋小、弥生小の通学区域と一致するように上板橋第一中の通学区域を拡張した試案です。
- 区域の境界と上板橋第三中の所在地との距離、周辺校である上板橋第二中、板橋二中、板橋三中の学びのエリアと通学区域の整合など、精査すべき事項がありますが、基本的な考え方に基づき小・中学校の通学区域の整合を検討した場合の上板橋第一中学校の区域を最も拡張した案と考えています。
- その際の学級数予測としては、最大14学級を見込んでいます。
- このことから、上板橋第一中学校の新校舎における教室数の設定として、14教室以上は整備する方向性が必要であると考えています。

上板橋第一中学校 通学区域検討に関するスケジュールイメージ

別紙2



※通学区域を変更する対象となった区域については、経過措置として、変更時期から2年程度、変更前の中学校への入学希望が優先される「調整区域」に設定する予定です。